

鈴鹿医療科学大学の産学官連携研究活動について

鈴鹿医療科学大学 社会連携研究センター長 鈴木 宏治



本学は、保健衛生学部、医用工学部、薬学部、看護学部からなる医療系総合大学であり、医療・健康・福祉分野における新しい科学技術の開発や新製品の創出につながる多様な研究を行っています。

産学官連携研究活動は、社会連携研究センター内の医療福祉機器開発センター、医薬品開発センター、予防医学開発センターと共に、東洋医学研究所や各学部学科において特色ある研究が行なわれています。医療福祉機器開発センターでは、医用工学部臨床工学科、保健衛生学部放射線技術科学科・理学療法学科等の教員による医

療機器や介護支援ロボット、周辺機器等の開発研究が、医薬品開発センターでは、薬学科、医療栄養学科、東洋医学研究所等の教員による医薬品・化粧品・機能性食品等の開発や健康寿命延伸に向けた基礎的研究が、また予防医学開発センターでは、薬学科、医療栄養学科・鍼灸サイエンス学科、東洋医学研究所等の教員による食育・地産地消・薬膳等を活用した生活習慣病の予防を目指した研究が行われています。

さらに、三重大学や三重県農業研究所等との共同研究に加え、鈴鹿工業高等専門学校との医工連携研究等、様々な形の研究活動を展開しています。こうした活動の成果は教員研究シーズ集として刊行し、広く社会に紹介しています。

鈴鹿市西部地域の活性化を目指して ～第2回鈴鹿シャクヤクまつり開催～

鈴鹿大学 国際人間科学部 教授 今光 俊介



鈴鹿市西部地域活性化の大型イベントである「鈴鹿シャクヤクまつり」が5月19・20日の2日間に渡って開催されました。昨年よりリニューアル・スタートし、今年が第2回目の開催となります。約20万本の花が咲き

誇る名実ともに日本一となったシャクヤク畑の景色は圧巻であり、幅広い年代の方にご来場頂きました。中京地区で行われている花畑を観光する催事は、愛知県の知多半島にある観光農園花ひろばのひまわり畑や、いなべ市農

業公園のいなべたんまつりなど、いずれも盛況であり人々が癒しを求めて出かけることがうかがえます。

初日は強風のために一部の式典が中止となりましたが、昨年同様に好評裏にまつりを終えることができました。一方で、次年度に向けた課題も見えてきました。まつり会場は、東名阪自動車道・鈴鹿ICそばにあり、乗用車で来場される場合がほとんどですが、会場に隣接する駐車場の確保が困難です。まつりの継続開催には、来場者の利便性を高めつつ現状は無料としている入場料金を有料化したり、生薬利用のための生産を高めるなどして収益化を図ることが不可欠です。今後も、プロジェクトメンバーおよび会員の皆様のご協力を賜りながら、努力して参ります。



ランニングバイクによる鈴鹿独自の運動遊びの提案

鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部 子育てイノベーション研究センター センター長 石川 拓次



鈴鹿大学は、こども教育学部および短大部こども学専攻において保育者の養成を行っています。保育者の役割の一つとして、子ども達の健康の保持増進を促し、支援することがあります。本学は、ランニングバイクを活用した研究をはじめとして、幼児における健康の保持増進の重要性に焦点を当て、教学の充実を図っています。

その中で本学の子育てイノベーション研究センターでは、平成28年度から産学官の協働で「鈴鹿市における幼



児のランニングバイクによる「地域活性に関する研究」を行なっています。ランニングバイクは、2歳から乗ることのできる足漕ぎ式の二輪の乗り物で、生まれて初めての主体的に操縦する乗り物となります。過去の調査では、子どもの発育発達を大いに促すとされており、発達への影響として、「体力がついた」「足が速くなった」「脚力がついた」等があげられています。当センターでは、幼児の運動機能に関する研究や親子関係の構築に関する調査を進め、ランニングバイクの経験が子どもの発達に及ぼす影響を検討しています。

今後この研究の成果から、「モータースポーツ都市宣言」に沿った鈴鹿独自の幼児期の運動遊びの提案を行なっていきます。皆様のご指導ご協力をよろしくお願いいたします。

三重大学産学連携認定商品について

三重大学 地域創生戦略企画室 助教 加藤 貴也

本学は地域密着の産学官連携を推進しています。自治体との共同プロジェクトや中小企業との共同研究については、件数の倍増を目標として積極的に展開しています。それらの活動の中から、共同研究などの成果を基にした数々の商品やサービスが生まれています。その一部では、パッケージやパンフレットなどに本学のロゴマークを表示して販売が行われています。これは、本学の「三重大学産学連携認定商品」という特徴的な制度によるものです。

認定商品は、カレーやお菓子、酒類など食品だけでなく、地盤改良の技術や防災関連商品など幅広い分野の

商品、サービスが対象となっています。それらの中には共同研究に加え、インターシップなどを通じて積極的に学生が関わった商品もあり、商品開発に参画することによる人材育成の場の創出にも繋がっています。

また本学は、認定された商品をHPだけでなく広報誌や展示会、シンポジウムなどで積極的に情報発信を行っています。共同研究を実施するだけでなく、その成果を基に生まれた商品の販売促進、販路拡大の一助となるよう努めています。その結果が更なる産学官連携の促進、そして地域の活性に繋がればと考えています。

参考：商品紹介ページ

(<http://www.crc.mie-u.ac.jp/renkeishohin/renkeishohin.html>)



交流会事業のご報告

■第2回鈴鹿シャクヤクまつり

5月19日(土)・20日(日)の二日間、鈴鹿IC西側の圃場にて「第2回鈴鹿シャクヤクまつり」を開催しました。一日目は強風のため開催内容を一部変更しての開催でしたが、二日目は天候に恵まれ盛大に開催することができました。1万2千株の芍薬畑を囲み、芍薬の関連商品や飲食物などのテント販売が行われ、二日間で約3,000人の方にご来場いただきました。



■第20回通常総会

5月24日(木)、コンフェット鈴鹿平安閣にて、第20回通常総会を開催し、平成29年度事業報告・収支決算、平成30年度事業計画(案)・収支予算(案)について、ご承認を頂きました。総会終了後には懇親パーティーを開催しました。



■農水森林交流サロン リラックスサロン

8月24日(金)・25日(土)にパーベキュー鈴鹿峠にて、三重大学生物資源学研究所 資源循環学専攻 国際資源植物学研究室 准教授 関谷信人氏をお招きし、「三重大学オリジナル酒米品種『弓形穂』の悲喜こもごもー産学連携の実態と課題ー」をテーマにご講演いただきました。講演終了後、フリーディスカッションと懇親会を開催しました。



交流会事業スケジュール

■福井経編興業(株) & シャルマン(株) 視察研修会

「下町ロケット ガウディ計画編」のモデル企業の福井経編興業(株)と、メガネ製造国内No.1のシャルマン(株)を視察
開催日：11月28日(水)・29日(木) 1泊2日

■鈴鹿工業高等専門学校・鈴鹿医療科学大学・三重大学 合同産学官交流フォーラム

開催日：平成31年2月27日(水)
会場：鈴鹿工業高等専門学校

■鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部 合同産学官交流フォーラム

鈴鹿ランニングバイク大会・ランニングバイクを活用した教育プログラムについての講演
開催日：平成31年3月16日(土)
会場：鈴鹿大学

■鈴鹿高専RT・医工・農工セキュリティサロン

会場：鈴鹿工業高等専門学校
開催日：未定

SUZUKA産学官交流会 ★会員募集中!★

年会費 / 20,000円

問合せ 鈴鹿商工会議所 SUZUKA産学官交流会 担当/今村・丸山まで

〒513-0802 三重県鈴鹿市飯野寺家町816番地 TEL 059-382-3222 FAX 059-383-7667
E-mail sangaku@scci.or.jp URL <http://www.scci.or.jp/sangaku>

Vol.
19

企業・教育研究機関・行政の連携・交流から、人をつくり、モノをつくり、街をつくる

SUZUKA産学官交流会ニュース

教育研究機関の産学官連携の取り組み

SUZUKA産学官交流会は、企業と教育研究機関、行政との連携から、新たな製品、技術、マーケティング等を開発することを目的として活動しています。今回の交流会ニュースでは、各教育研究機関における産学官連携の取り組みをご紹介します。

また、平成30年4月に、鈴鹿工業高等専門学校の学校長に吉田潤一氏が就任されましたので、併せてご紹介させていただきます。

新任ご挨拶

鈴鹿工業高等専門学校 学校長 吉田 潤一



本年4月に鈴鹿高専の校長に着任いたしました。3月まで、京都大学大学院工学研究科合成・生物化学専攻の教授をしておりました。専門は、有機合成化学という分野です。とくに、細かい流路の中に液を連続的に流しながら物質を合成するフロー・マイクロ合成とよばれる新規な方法の開拓に取り組んできましたが、その中で、いくつかの産学官連携の取り組みを行ってきました。一つ目は、現在も代表幹事を務めております近畿化学協

会のフロー・マイクロ合成研究会で、70社あまりの企業会員と50人ほどの個人会員がいて、講演会や勉強会の活動を続けています。二つ目はNEDOのプロジェクトで、10社あまりの企業とともに京都大学に集中研を設置し、2期9年にわたって共同研究を行ってきました。その成果をもとに企業で医薬品中間体の製造が行われています。三つ目は人材育成で、経済産業省の人材育成事業としてスタートし、その後独立したコンソーシアムとして企業研究者に対する講義や実習などの活動を行っています。このようなこれまでの経験を生かして、SUZUKA産学官交流会の皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。どうかよろしく願いいたします。

鈴鹿工業高等専門学校の産学官連携

鈴鹿工業高等専門学校 校長補佐・研究主事 横山 春喜

鈴鹿工業高等専門学校が行っている産学官連携の中から三つの取り組みについて紹介します。一つ目は、SUZUKA産学官交流会への参加で、本会において産学官連携イベントを企画・開催しています。今年度は、ロボットテクノロジー・医工・農工をキーワードとしたサロンを2回、フォーラムを1回開催する予定ですので、奮ってご参加ください。

二つ目は、鈴鹿高専テクノプラザを通じた活動です。鈴鹿高専テクノプラザは、地域産業界との連携と交流を深め、地域産業の発展に貢献することを目的に平成25年3月に設立され、現在の会員企業は100社を越えています。活動としては、技術相談や共同研究、受託研究等の研究関連の事業の他、企業交流会を通じた会員企業間および本校との情報交流の促進、出前授業、講演会など

による会員企業の技術向上の支援等を行っています。

また、今年度から新たな取り組みとして、企業の研究員と本校教員により構成された研究室を共同研究推進センター内に設置して共同研究を行う協働研究室制度もスタートしました。共同研究推進センターに設置されている研究機器類は一般の方にも開放していますので、興味のある方は、本校HP (<http://www.suzuka-ct.ac.jp/>)をご参照ください。

